Sendai Medical Center
since 1945

診療のご案内
2026

国立病院機構
仙台医療センター





基本理念

最善の医療を尽くして社会に貢献します

患者さんにやさしく

働きがいのある病院を目指します

基本方針

1．医療の質の継続的改善

2．地域との医療連携と情報共有

3．社会のニーズに対応した病院経営

4．質の高い医療従事者の育成

5．職員の働く環境の改善

6．臨床研究の活性化

ご挨拶



国立病院機構　仙台医療センター

院　長　**江面　正幸**

仙台医療センターの基本理念は「最善の医療を尽くして社会に貢献します / 患者さんにやさしく働きがいのある病院を目指します」となっております。それを達成するための中期目標として、ビジョン2028を設定しております。「地域に選ばれる高度急性期病院 / 職員が誇れる働きがいのある病院」というものです。ビジョン2028のキーワードの一つが「地域」です。

仙台医療センターは、国立病院機構の北海道東北グループに所属しております。北海道東北グループはグループ事務所と20病院で構成され、当院はその基幹病院となっております。また、エイズ診療においては東北ブロック唯一のブロック拠点病院であり、災害医療においては宮城県で唯一の基幹災害拠点病院となっております。医学部卒業生の研修先マッチングでは、第一志望者数が大学病院と市中病院と分けて公表されておりますが、後者において当院は昨年度は全国11位、今年度は８位となっております。このように、東北地方、或いは全国へ目を向けないといけない要素もありますが、こと診療においては地域が重要です。地域医療支援病院として、また紹介受診重点医療機関として、地域の医療に貢献することが当院の最大のミッションと考え、地域に密着できるような改善を進めて参りました。

昨年度に大きく改善したこととして、外来受診のオンライン予約を開始したことを紹介したいと思います。まだ一部の科の一部の枠ではありますが、患者さん自身が PC やスマホで外来予約をできるようにしました。と言ってもセキュリティの問題から、患者さんが直接電子カルテ上の診察枠を操作できるわけではありません。休日や夜間に予約希望を届けていただいて、翌日以降の開院日に、地域連携室で正式に電子カルテ上の予約として受付けて患者さんにその情報をお伝えして予約完了、という流れです。今までは電話やファックスでやっていた部分をオンラインに変更した、というイメージです。アナログな部分が残るオンライン予約ではありますが、これにより紹介を仲介していただく連携登録医の先生の待ち時間を減らす、ということには大いに貢献できるのではないかと思っています。今後順次、対象診療科を増加し、対象枠も拡大する予定です。

このオンライン予約については、連携登録医の先生方の施設訪問や夕涼の会などでの意見交換の際にお寄せいただいた意見を実現したものです。このように、当院のことを親身になって意見していただけるのは大変ありがたいことだと感謝しております。今後もこのような建設的なご意見を是非賜れればと考えております。地域に開かれた安心して受診できる病院をめざし、患者さん、当院の診療をご支援いただいている仙台市ならびに宮城県内の多くの先生方と連携を深めていきたいと思っています。ご支援をよろしくお願い申し上げます。

目次





Ⅰ 病院概要・沿革

1 仙台医療センターの概要 …… 6
2 仙台医療センターの沿革 …… 7
3 仙台医療センターの診療機能・特色 …… 8
4 仙台医療センターの建物配置図 …… 9
5 仙台医療センター外部団体等認定一覧 …… 10
6 政策医療ネットワーク …… 10

Ⅱ 地域医療連携室のご案内

1 地域医療連携室のご案内 …… 12
2 紹介患者さんの予約・受診のながれ …… 14
3 検査依頼について …… 16
4 放射線科検査機器・検査部位一覧 …… 17
5 登録医制度のご案内 …… 18
6 消化器内科・外科ホットライン …… 19

Ⅲ がん診療連携室のご案内

1 がん診療連携室のご案内 …… 36
2 セカンドオピニオン外来のご案内 …… 39

Ⅳ 診療科のご案内

1 総合診療科 46
2 内分泌・代謝内科 49
3 腎臓内科 52
4 血液内科 56
5 感染症内科 60
6 腫瘍内科 63
7 緩和ケア内科（ペインクリニック） 67
8 脳神経内科 69
9 呼吸器内科 71
10 消化器内科 75
11 循環器内科 79
12 膠原病内科 85
13 外科 86
14 乳腺外科 94
15 整形外科 95
16 形成外科 98
17 脳神経外科 101
18 呼吸器外科 104
19 心臓血管外科 108
20 小児外科 110
21 泌尿器科 113
22 皮膚科 116
23 眼科 122
24 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 124
25 小児科 127
26 産婦人科 131
27 救急科 136
28 麻酔科 140
29 放射線科 144
30 病理診断科 147
31 精神科 149
32 歯科口腔外科 152
33 海外旅行外来 156
34 ウイルスセンター 158
35 看護部 160
36 薬剤部 162
37 リハビリテーション科 164
38 研修医 166

1 総合診療
2 内分泌・代
3 腎臓内科
4 血液内科
5 感染症内
6 腫瘍内科
7 緩和ケア
8 脳神経内
9 呼吸器内
10 消化器内
11 循環器内
12 膠原病内
13 外　科
14 乳腺外科
15 整形外科
16 形成外科
17 脳神経外
18 呼吸器外
19 心臓血管
20 小児外科
21 泌尿器科
22 皮 膚 科
23 眼　科
24 耳鼻咽喉
25 小 児 科
26 産婦人科
27 救 急 科
28 麻 酔 科
29 放射線科
30 病理診断
31 精 神 科
32 歯科口腔
33 海外旅行
34 ウイルス
35 看 護 部
36 薬 剤 部
37 リハビリ
38 研 修 医

連 絡 先 一 覧

No	問い合わせ内容	時間帯	連絡先	電話	FAX
1	通常のご予約	8:30-17:15 （平日）	紹介予約 センター	022-293-0703	022-293-0709
2	急患のご紹介	8:30-18:00 （平日）	代表	022-293-1111	電話のみ
		8:30-16:00 （平日）	紹介予約 センター	022-293-0703	電話のみ
3	日当直帯の急患の ご紹介	日当直医へ お繋ぎいたします。	防災 センター	022-293-1119	電話のみ
4	消化器内科・外科 ホットライン	8:30-17:00 （平日）	紹介予約 センター	090-9133-9387	022-293-0709
5	CT・MRI・乳房撮影・ 核医学検査依頼	8:30-17:15 （平日）	紹介予約 センター	FAX のみ	022-293-0709
6	がん診療連携室	8:30-17:15 （平日）	地域医療 連携室	022-293-1118	022-293-1123
7	セカンドオピニオン	8:30-17:15 （平日）	地域医療 連携室	022-293-1118	022-293-1123
8	その他、地域医療連携に 関すること	8:30-17:15 （平日）	地域医療 連携室	022-293-1118	022-293-1123

I

病院概要·沿革

1 仙台医療センターの概要



所在地

〒983-8520　宮城県仙台市宮城野区宮城野二丁目11番12号
電話(代表) 022-293-1111
ファクシミリ 022-291-8114

施設概要

◉敷地面積　56,067㎡
◉建物面積　14,366㎡(建面積)　62,661㎡(延面積)
◉構造規模　SRC･RC･S造　免震構造、一部耐震構造、
　　地上11階(PH、屋上ヘリポート)
◉駐 車 場　外来者用：400台

環境

仙台市(約109万人)のほぼ中央、JR仙台駅の北東2kmに位置し、南に宮城県営グラウンド等の整備された運動場が広がり、東にはJR仙台貨物駅、北東には卸商団地、東側には仙台新港を有し、新産業都市計画、臨海工業都市計画等に基づく工業都市としての変容を遂げており、交通至便、立地条件にも恵まれた最適な環境にあります。将来は宮城県が整備する広域防災拠点の一翼を担うこととなっています。

公共交通機関によるアクセス

◉**JR利用の場合**
・JR東北本線･東北新幹線仙台駅よりJR仙石線(10番線)へ乗換「宮城野原駅」下車(乗車時間4分)
　東出入口2より徒歩約1分　※快速は止まらない場合がありますので、ご注意ください。

◉**仙台市営バス利用の場合**
・仙台駅前(アイリス青葉ビル前50番のりば)より
　1.「花京院･仙台医療センター経由 小鶴新田駅」行きに乗車し、「仙台医療センター前」下車 徒歩約3分
　2.「原町･宮城野区役所･福田町経由 蒲生(なかの伝承の丘)」行き、
　　「原町･宮城野区役所･福田町経由 高砂市営住宅西」行き、
　　「原町･扇町六丁目経由 東部工場団地･荒井駅」行きに乗車し、「原町二丁目」下車 徒歩約10分

◉**宮交バス利用の場合**
・仙台駅前(アイリス青葉ビル前50番のりば)より
　「仙台港 フェリー」行きに乗車し、「原町二丁目」下車 徒歩約10分

病床数

医療法承認病床数							収容可能病床
総数	一般			結核	精神	感染	
	重心	筋ジス	その他				
656床	0床	0床	624床	0床	32床	0床	656床

標榜診療科 33科

内分泌･代謝内科	腎臓内科	血液内科	感染症内科	腫瘍内科
緩和ケア内科(ペインクリニック)		脳神経内科	呼吸器内科	消化器内科
循環器内科	膠原病内科	外科	乳腺外科	整形外科
形成外科	脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外科	小児外科
泌尿器科	皮膚科	眼科	耳鼻咽喉科･頭頸部外科	小児科
産科	婦人科	救急科	麻酔科	放射線科
病理診断科	リハビリテーション科	精神科	歯科口腔外科	

(院内標榜1科　総合診療科)

② 仙台医療センターの沿革

年月日	事　　項
昭和12年	仙台第一陸軍病院臨時宮城野原分院として創設
昭和20年 4月	本院に昇格、仙台第１陸軍病院宮城野原本院に昇格
昭和20年12月	厚生省に移管、国立仙台病院となる
昭和22年 4月	付属高等看護学院設置
昭和43年 7月	臨床研修病院に指定
昭和50年 1月	透析センター設置
昭和52年 4月	附属看護学校に助産婦科新設、附属看護助産専門学校となる
昭和53年 4月	救命救急センター、脳卒中センター設置
昭和53年 6月	母子医療センター設置
昭和55年 3月	附属リハビリテーション学院設置
昭和55年 4月	臨床研究部設置
昭和57年10月	地域医療研修センター設置
昭和60年 4月	世界保健機構（WHO）西太平洋地域事務局から「WHO呼吸器ウイルス調査研究協力センター」に認定
平成 7年12月	災害拠点国立病院として指定（全国10施設）
平成 8年 9月	東北ブロックエイズ拠点病院として指定
平成 9年 1月	宮城県から基幹災害医療センター（県内１ヶ所）として指定
平成10年 1月	急性期入院医療の定額払い方式（DRG）の試行モデル病院として指定（全国10施設）
平成11年 3月	日本医療機能評価機構より「一般病院種別B」に認定
平成16年 4月	厚生労働省（国）から独立行政法人国立病院機構へ移行
	これにともない、『国立仙台病院』から『独立行政法人国立病院機構　仙台医療センター』へと名称変更
平成16年 6月	DPC（急性期医療に係る診断群分類別包括支払方法）を試行
	（財）日本医療機能評価機構の認定期間満了に伴う再審査（Ver.4）の結果、同機構より「一般病院」の認定
平成17年11月	地域医療支援病院に承認
平成18年 8月	地域がん診療連携拠点病院に指定
平成20年 3月	附属リハビリテーション学院閉校
平成20年 9月	ISO9001：2000認証取得
平成21年 8月	日本医療機能評価機構より「一般病院500床以上（Ver.5）」に認定（更新）
平成22年 7月	WHO/ユニセフよりBFH（あかちゃんにやさしい病院）に認定
平成23年 9月	ISO9001：2000認証更新
平成23年12月	特定非営利活動法人卒後臨床研修評価機構より認定
平成24年 1月	電子カルテ全面稼働
平成26年 3月	日本医療機能評価機構より「一般病院２　3rdG：Ver.1.0」認定（更新）
平成26年 4月	日本医療機能評価機構より「付加機能（救急医療機能Ver.2.0）」認定
平成26年 9月	ISO9001：2008認証更新
平成27年12月	特定非営利活動法人卒後臨床研修評価機構より認定更新
平成28年 2月	ISO15189：2012「臨床検査室」認定
平成28年10月	宮城県ドクターヘリ運航
平成29年 3月	ISO9001：2015認証更新
平成30年 1月	宮城県から原子力災害拠点病院として指定
令和元年 5月	新病院移転開院（病床数698床→660床）
令和元年 9月	歯科医師法に基づく臨床研修施設として指定
令和 2年 8月	特定行為研修指定研修機関として指定
令和 4年 1月	宮城県難病地域拠点病院に指定
	宮城県難病診療分野別拠点病院（血液系）に指定

3 仙台医療センターの診療機能・特色

当院は、従来の厚生労働省の政策医療ネットワークの中の１つで、国立国際医療センターを中心とする、高度総合医療ネットワークを構成する15病院の中の１つでした。

近年、日本の少子高齢化社会が年々進み、患者さんの疾病構造も変り、現在は、生活習慣病を主とする高齢の患者さんが多くなりました。この患者さん達は、一度にいくつかの疾患を同時に持っています。例えば、糖尿病と高血圧、心疾患と腎疾患、等の合併です。高齢化社会をむかえ、この様な重複疾患への対応が益々必要になってきました。これらの重複疾患に対し、総合的・集学的な高度の医療を提供することが、即ち高度総合医療というわけです。

また、災害医療、洋上救急等の国内救急医療はもとより、海外からの研修生受け入れ、海外への医療派遣などの国際医療協力も行っております。これらの診療・教育活動の他、ウイルス感染症（インフルエンザやエイズ）対策、種々の臨床研究、新薬の治験等、当院の付加価値を高める医療にも力を注ぎ、その内容は広く世界に情報発信しています。

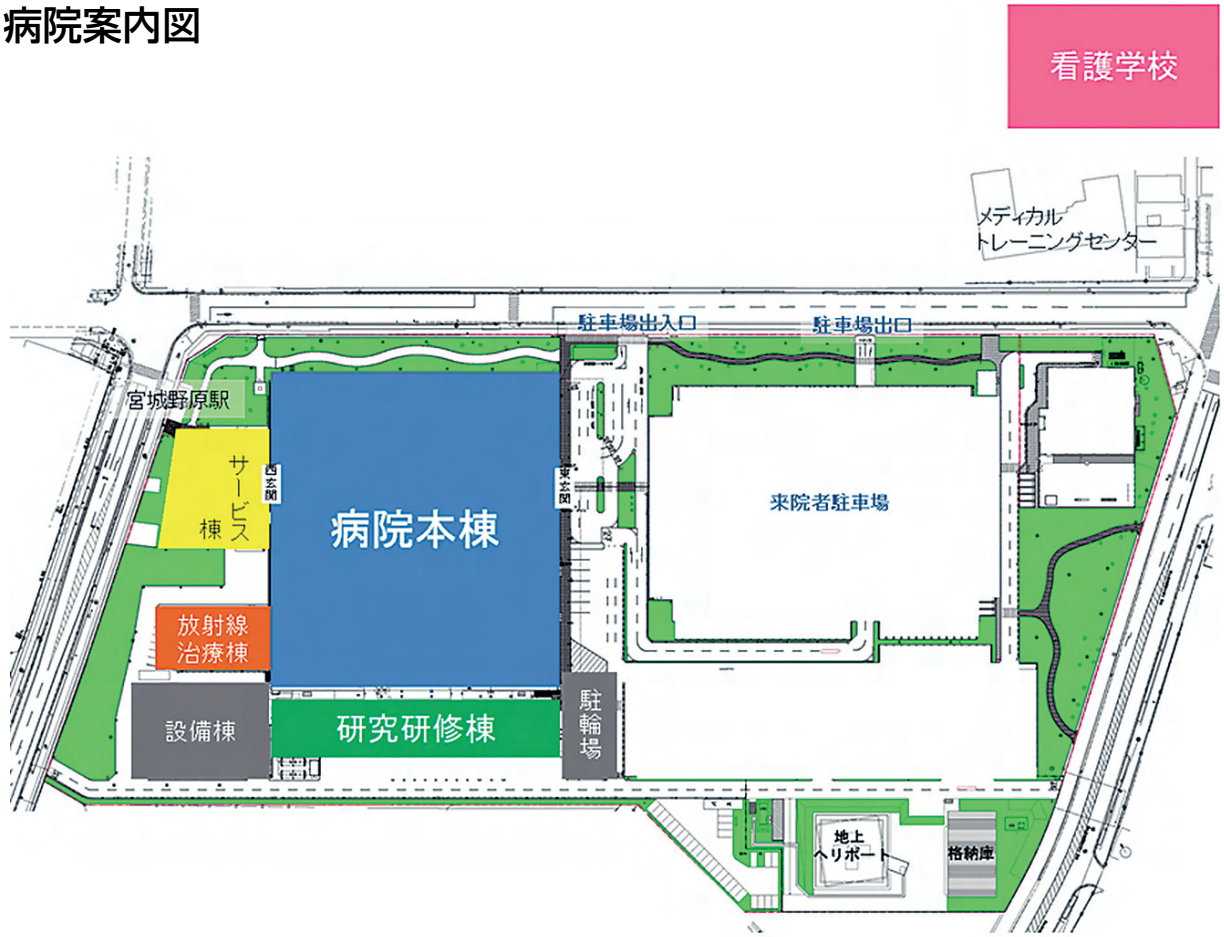
私達の治療行動は、たくさんの臨床指標によりチェックされ、常に高レベルの医療の提供を心がけています。勿論医療安全も医療の質の中核と位置づけています。より高度で安全な医療の標準化が私達の課題と常に考えています。

- WHO 呼吸器ウイルス調査研究協力センター
- 東北ブロックエイズ拠点病院
- 宮城県基幹災害医療センター
- 初期（医科・歯科）臨床研修病院
- 地域医療支援病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- BFH（赤ちゃんにやさしい病院）
- 宮城県原子力災害拠点病院

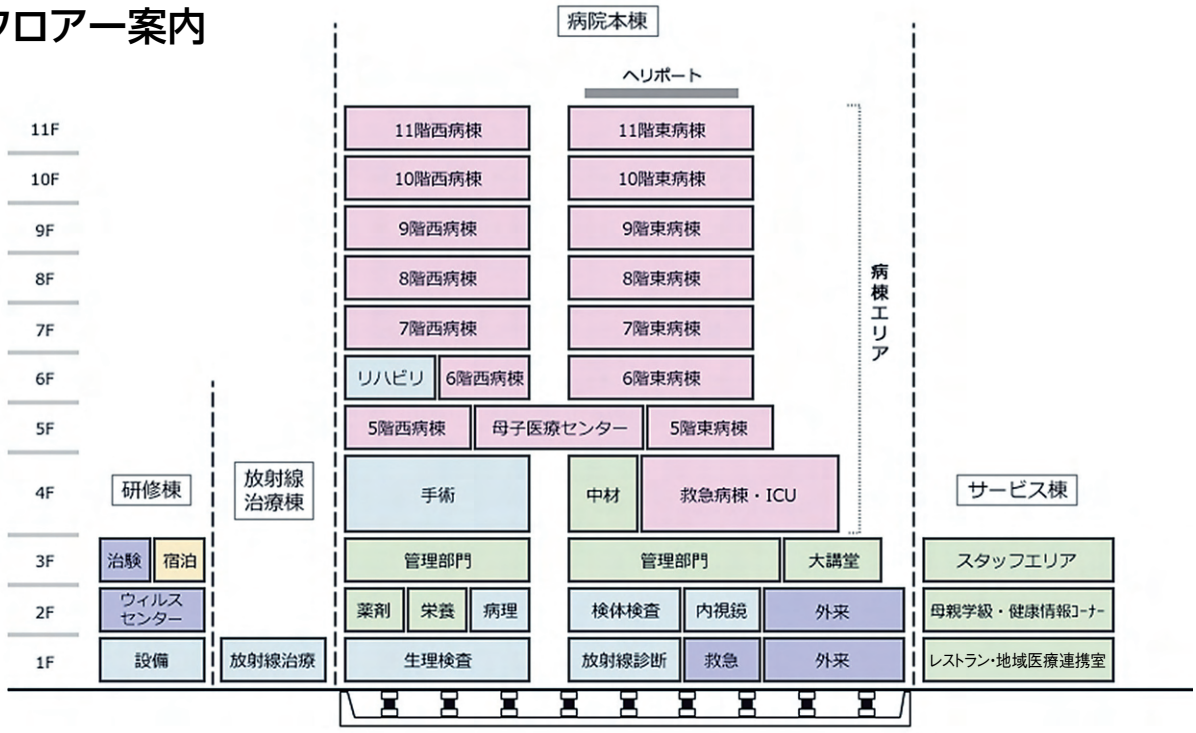


4 仙台医療センターの建物配置図

病院案内図



フロアー案内



5 仙台医療センター外部団体等認定一覧

ISO9001　マネジメントシステム登録	日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修施設	日本糖尿病学会認定教育施設
東北大学病院地域医療連携施設	日本消化器外科学会	臨床研修病院
救急科専門医指定施設	日本耳鼻咽喉科学会　専門医研修施設（認可証）	日本がん治療認定医機構
日本食道学会全国登録認定施設	日本糖尿病学会認定教育施設証	日本気管食道科学会研修施設
日本肝胆膵外科学会　肝胆膵外科高度技能専門医修練施設	日本外科学会外科専門医制度修練施設	日本産科婦人科学会専門医制度
麻酔科認定病院認定	日本病理学会　研修認定施設	日本手外科学会　研修施設認定
循環器専門医研修施設	日本形成外科学会	日本神経病理学会認定施設
日本静脈経腸栄養学会　NST 稼働施設	日本口腔外科学会	日本脳卒中学会
日本整形外科学会　専門医研修施設（依頼状）	特定非営利活動法人日本顎変形症学会	（社）日本整形外科学会（認定 005）
日本甲状腺学会　認定専門医施設	日本消化器内視鏡学会　指導施設	がん診療連携拠点病院
日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医	日本周産期・新生児医学会	日本内分泌学会認定教育施設
日本臨床腫瘍学会	日本緩和医療学会認定研修施設	日本呼吸器学会
実地研修施設	日本栄養療法推進協議会	日本形成外科学会
日本婦人科腫瘍学会　専門医制度指定修練施設	日本眼科学会専門医制度	日本病態栄養学会
日本食道学会全国登録認定施設証	日本形成外科学会	設備指定証
薬学生実務実習受入施設	ISO15189：2012	日本病院総合診療医学会　認定施設
日本臨床細胞学会　教育研修施設	アレルギー専門医準教育研修施設	日本臨床細胞学会　施設
2019 年度　NCD 施設会員登録	日本脳神経血管内治療学会　研修施設	日本脳血管内治療学会専門医施設
日本理学療法士協会臨床指導施設	日本造血細胞移植学会　非血縁者間造血幹細胞移植認定診療科	日本造血細胞移植学会　非血縁者間骨髄採取認定施設
日本消化器外科学会　学会連携証明	日本女性医学学会専門医制度認定研修施設認定証	日本消化器病学会
東北大学産婦人科研修プログラム	日本 IVR 学会　専門医修練施設更新認定	日本産科婦人科内視鏡学会
日本肝臓学会	日本内科学会認定医制度教育病院	日本医学放射線学会　放射線科専門医総合修練機関
日本泌尿器科学会	日本血液学会	日本神経学会
日本皮膚科学会	日本呼吸器内視鏡学会	呼吸器外科専門医合同委員会　基幹施設
日本甲状腺学会認定専門医施設	日本神経病理学会	日本脳神経外科学会　専門医指定訓練場所

6 政策医療ネットワーク

平成16年から旧国立病院・療養所は独立行政法人化が行われた。独立行政法人化後も、引き続き政策医療分野の機能を担っている。即ち、政策医療を19分野に分類し、それぞれナショナルセンター、準ナショナルセンターを中心に各施設を基幹医療施設、専門医療施設に分類し、疾患ごとに全国ネットワークを構築した。

当院は下記のような13分野の政策医療を担っている。

基幹医療施設	●がん（脳神経、頭頸部系、血液・造血器系、消化器系、乳腺、呼吸器系、婦人科系） ●循環器病（循環器科、心臓血管外科、脳神経外科、神経内科） ●成育医療（小児科、小児外科、産科、特殊小児センター：児童精神科） ●エイズ（東北エイズブロック拠点病院）
専門医療施設	精神、腎疾患、骨・運動器、内分泌・代謝、感覚器、血液・造血器、肝疾患、災害医療
政策医療協力施設	国際医療協力



地域医療連携室のご案内

1 地域医療連携室のご案内

地域医療連携室について

地域医療連携室は、医師2名および経営企画室長が兼任で担当するとともに、看護師16名、社会福祉士7名　事務8名（予約センター事務7名）で運営しております。紹介予約、医療・福祉・診療・看護・介護・がん等の相談、入院時支援や退院調整などを行っています。

登録医の先生方からのご紹介および逆紹介はおかげさまで年々増加しております。今後も、地域の先生方、訪問看護をはじめとした在宅を支える関係機関の皆様と連携を深めて参ります。また、地域医療支援病院としての役割も併せて、地域の先生方・コメディカルの皆様にもご参加いただける地域医療研修会開催、市民講演会の開催なども含め多岐にわたる役割を果たして参ります。

地域医療連携室スタッフ紹介



副院長（地域医療連携部長）	新倉　仁
地域医療連携室長（総合感覚器科部長）	舘田　勝
経営企画室長	犬上　直美
地域医療連携係長（看護師長）	阿部　直美
副看護師長	沖　梨沙
看護師	中野　郁美
看護師	鈴木　瑞乃
看護師	平松亜希奈
看護師	原田　春香
看護師	結城　美香
看護師	山家　優菜
看護師	石川真奈美
看護師	石村　香苗
看護師	神田　敏江
看護師	増田菜採子
看護師	栗原　莉香
看護師	阿部　希衣
看護師	熊谷　柚紀
看護師	佐藤　舞
医療相談係長・医療社会事業専門職（社会福祉士）	小倉　美緒
社会福祉士	工藤　千春
社会福祉士	須田　剛
社会福祉士	加藤　知巳
社会福祉士	菅野　龍二
社会福祉士	峯田　真衣
社会福祉士	佐藤　華絵
事務員	岩渕　由香
事務職（紹介予約センター）	7名

地域の医院・病院との連携

地域の医療機関との連携を密にし、相互の診療や患者さんの紹介などの連絡調整を行っています。

◉地域の先生や病院の先生方からの紹介を受け付けています。
◉待ち時間が少なくなるように、紹介患者さんのカルテの事前準備や手続きの簡略化を行います。
◉ご紹介いただいた患者さんの受診報告をしています。

入院前支援

◉入院を予定している患者さんに対して、入院前に面談を行い、自宅での生活を伺うとともに、入院中の生活や治療について説明します。
◉患者さんが安心して入院、治療に臨めるよう支援しています。

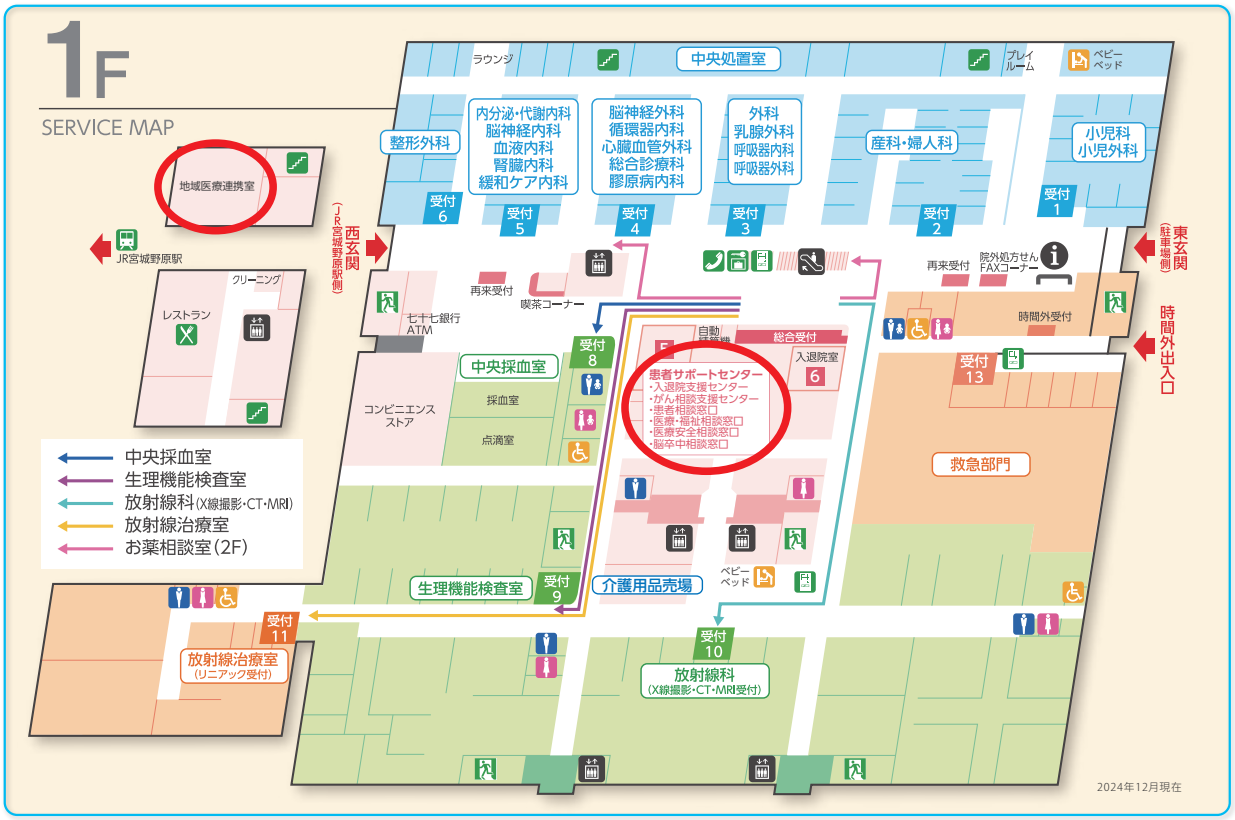
退院に向けての支援

◉地域医療機関と連携を図り、患者さんのご自宅近くの医療機関や緩和ケア施設などの情報提供・調整など退院調整を行っています。
◉福祉サービスや行政機関との退院調整を行っています。
◉入院中または、退院後の生活においての心配事などに関する相談を受けています。

医療福祉に関する相談

◉医療費などの経済的問題に関する相談を受けております。
◉社会福祉制度に関する相談を受けております。
◉公費負担申請の手続きに関する相談を受けています。
◉医療や看護・介護に関する相談を受けています。

地域医療連携室と患者サポートセンターの場所



患者サポートセンター

◉患者さんがさまざまな相談ができる場所です。

◉入院時支援、退院支援、病院連携、がん相談、医療・福祉相談、医療安全相談を行っています。相談の内容に応じて、地域医療連携室の看護師や医療ソーシャルワーカーが対応いたします。また、相談の内容によっては、多職種と連携を図りながら、支援していきます。

◉お困りごとがある患者さんがいらした場合には、患者サポートセンターを紹介いただければと思います。



2 紹介患者さんの予約・受診のながれ

地域の先生方へ

地域医療連携室では、地域の先生方のご理解とご協力のもと、地域医療連携の充実・推進を図っております。また、患者さんをご紹介いただいております先生方との信頼関係の構築と、地域に開かれた仙台医療センターを目指しております。

患者さんをご紹介いただく場合は、紹介状をお持ちになり11時までに直接受付にいらっしゃるか、「FAXによる診療予約」を行っております。待ち時間の短縮と受付の簡略化を図るために「FAX予約用紹介受診者票」に希望予約日を記入しFAXを頂きますと速やかに予約票を返信いたします。予約票は患者さんにお渡し下さい。診察日の変更は患者さんと直接調整させていただきます。

受付時間および連絡先

◉FAX受付時間　**8時30分～17時15分**
16:45以降に関しては翌日の対応になる場合があります

◉紹介予約センター受付時間　**8時30分～17時15分**

◉休診日　土・日・祝祭日・年末年始

緊急のご紹介の場合

診療科が決まっていない場合
地域医療連携室**(022-293-0703)**におかけ下さい。
診療科に確認しお受けいたします

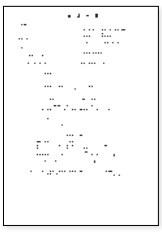
通常のご紹介の場合

当院所定の紹介受診者票を記載し送信してください。

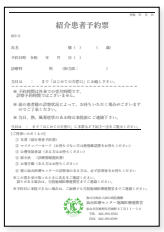
FAX **022-293-0709**　(P26参照)



予約票をFAXにて送信させていただきます。
産科は連絡票と初回妊婦健診についての案内をお送りします。
予約票を患者さんにお渡しください。診察日の変更は直接患者さんと行います。



予約当日、診察申込書を記入し「はじめての方」窓口へご提出下さい。



紹介患者予約票



紹介状


マイナ保険証



おくすり手帳

WEB 予約の場合

◉2026年度2月より、診療科を限定して、WEB予約を開始しました。

紹介患者WEB予約システムの流れ

＊患者さんご自身で予約いただきます＊

ご紹介いただく際に、その場で日程を決められない患者さんもいらっしゃるかと思います。今後は患者さん自身のご都合の良いタイミングで、受診希望日をお選びいただけます。ただし、予約可能な日程は最短で5診療日以降となります。

✅診療情報提供書と共にQRコード付きの案内チラシ（WEB予約のご案内）を患者さんにお渡しください。
※案内チラシを渡す前に、患者さんが受診すべき診療科をお伝えください。
（または、受診すべき診療科を記載してお渡しください。）



✅患者さんへのWEB予約システム案内後、当院にFAXにて紹介受診者票をお送りください

FAX 022−293−0709





②紹介受診者票をFAX

紹介元医療機関

紹介予約センター

⑤予約日をFAXにてご報告

①診療情報提供書と「WEB予約のご案内」を渡す



③WEBで受診希望日を入力

④予約日をメールで通知

患者さん

患者さんからの申し込みをいただいた後、紹介受診者票のFAXが届かない場合は紹介元医療機関にご連絡させていただきます。

詳細は右記ホームページをご参照ください。
https://nsmc.hosp.go.jp/Cooperation/renkei.html

Sendai Medical Center since 1945

独立行政法人　国立病院機構
仙台医療センター

〒983-8520　宮城県仙台市宮城野区宮城野二丁目11番12号
紹介予約センター　電話：022-293-0703（直通）　FAX：022-293-0709

3 検査依頼について

当院では、紹介医において高額医療機器による患者さんの検査の実施が必要とされた場合、当院が保有する医療機器で検査を実施し、紹介医における患者さんの的確な診断に役立てていただくことができます。
お申し込み方法は、診療の申し込みと同じです。どうぞご活用ください。

ご利用いただける検査内容 P29

CT・MRI・乳房撮影専用紹介受診者票をご使用ください。 FAX:**022-293-0709**

検　査　名	検査日	検査受付時間	所見・レポート報告等
磁気共鳴断層診断（MRI）	頭頚部　木 体幹部　金	15：00 15：00	後日郵送
全身用コンピュータ断層診断（CT）	木・金	10：30	後日郵送
核医学検査（RI）	木・金	8：30～17：00	後日郵送

※超音波検査・下腹部内視鏡検査などは消化器科の診察でご依頼ください。

冠動脈CTについて

当院では冠動脈CTの地域連携共同利用を推進しております。
お申し込み方法は、診療の申し込みと同じです。どうぞご活用ください。

特　徴

低被ばく線量:患者さんそれぞれの心拍数にあった適切な撮影方法で、無駄な被ばくを抑えます

検査オーダー

検査当日の昼食はお止めいただくよう患者さんにお伝えください。水分は当日の午後12時まで可です。尚、ビグアナイド系糖尿病薬（メトグルコ等）を服用している患者さんの場合は、検査の2日前から2日後まで（計5日）服用を中止してください。乳酸アシドーシスを引きおこすことがあります。

当日の手順

1. 患者さんは、検査日の12:00 pmまで正面新患受付においでください。
2. 循環器内科外来では全身状態のチェックの後、造影剤使用同意書にご署名いただきます。
3. 13:00 にセロケン40 mgを服用いただきます。画質を高めるためのpremedicationです。
4. 14:00、ニトロール舌下直後に冠動脈CT検査を行います。撮影は15分程度で終了し、体調確認後ご帰宅いただきます。
5. 結果は検査翌日にFAXで第一報をご報告申し上げます。同時に画像をコピーしたCD-Rもご郵送申し上げます。緊急性のある異常が認められれば、お電話ですぐに患者さんにご連絡申し上げます。

4 放射線科検査機器・検査部位一覧

機　器　名	検査部位・疾患等
 **MRI** ◉MAGNETOM Avanto Fit BioMatrix 1.5T (SIEMENS) ◉Ingenia 3.0T (PHILIPS) ◉Intera Achieva 1.5T(PHILIPS)	頭部、脊椎、体幹、四肢関節等全身の核磁気共鳴画像検査
 **CT** ◉SOMATOM Drive (SIEMENS) ◉IQon Spectral CT (PHILIPS) ◉Revolution Maxima (GE)	冠動脈、大腸仮想内視鏡検査等全身のCT検査
 **血管撮影** ◉Airtis Zee BC (SIEMENS) ◉Azurion 7 B20/15 (PHILIPS)	心臓、中枢神経系、体幹等全身の血管検査、血管内治療
 **アイソトープ** ◉Symbia Evo Excel (SIEMENS)	脳血流、骨、センチネル等全身のアイソトープ検査
 **放射線治療** ◉CLINAC iX (Varian) ◉True Beam STx (Varian)	IMRT、IGRT等超高精度高エネルギー放射線治療

5 登録医制度のご案内

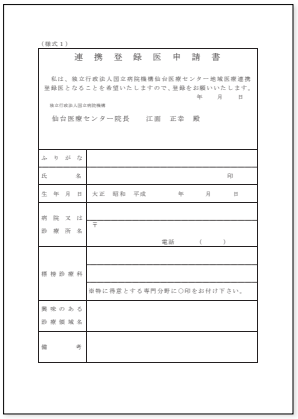
登録医制度について

国立病院機構仙台医療センターでは、地域の医療機関と当院が協力のもと相互の機能を有効に活用し、診療情報の交換等によって医療連携を深め広げることにより、地域全体として患者さんにとってより質の高い医療を提供していくことを目的として、登録医制度を実施しております。

令和8年4月1日現在　1,214名の先生方にご登録いただいております。

ご登録いただいた場合

◉紹介患者さんは積極的に受け入れ、救急医療の必要な患者さんに対応します。
◉登録医療機関から情報の提供を受け、逆紹介に努めます。
◉紹介元医療機関に診療情報の提供を行い、適切な時点で
　紹介元医療機関に逆紹介します。
◉症例検討会、講演会などの案内をします。
◉当院の各種情報を随時提供します。(「地域医療連携室だより等」の配布)
◉紹介患者さんの予約診療を行います。
◉登録医を病院の窓口に掲示します
◉その他、登録医療機関との医療連携の推進に努めます。



連　携　登　録　医　申　請　書

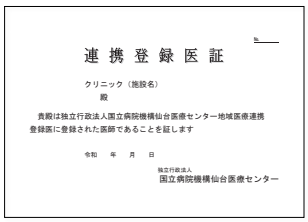
仙台医療センター院長　江面　正幸　殿

ふりがな	
氏　名	印
生年月日	大正　昭和　平成　年　月　日
病院又は診療所名	〒 電話　（　）
標榜診療科	
	特に希望とする専門分野に○印をお付け下さい。
興味のある診療領域	
備　考	

（登録医申請書）

申し込み手続きについて

登録医制度のご利用について、ご希望される先生は所定の申請書により
国立病院機構仙台医療センター宛に申請いただきます。



連　携　登　録　医　証

クリニック（施設名）
殿

貴殿は独立行政法人国立病院機構仙台医療センター地域医療連携
登録医に登録された医師であることを証します

令和　年　月　日

独立行政法人
国立病院機構仙台医療センター

（連携登録医証）

登録証の発行

登録医証を発行させていただきます。

研修等のご案内

登録医は、仙台医療センターの利用について下記の研修等にご参加いただけます。
◉仙台医療センターで開催する研修会、医学講演会、臨床病理カンファレンス、症例検討会など
◉登録医の紹介患者については、担当科医(部)長又は主治医の了解のもとでの診療
◉図書室において図書、文献の閲覧及び複写

費用負担について

登録費用の負担はありません。

登録医制度についてのお問い合わせ先

国立病院機構仙台医療センター　地域医療連携室
受付時間:月～金曜日(祝日を除く)　8時30分～17時15分
住　　所:〒983-8520 宮城県仙台市宮城野区宮城野2丁目11-12
直通電話:**022-293-0703**　直通FAX:**022-293-1123**

⑥ 消化器内科・外科ホットライン

胃がん（疑いも含む）・大腸がん（疑いも含む）・IBD（疑いも含む）・肝胆膵腫瘍専用の電話番号・またはFAXでご連絡ください。

外科・消化器内科で連携をとり早期に対応いたします。

（専用申し込み用紙をご使用ください）

胃がんホットライン

国立病院機構仙台医療センター　消化器内科

当院の胃がん治療について

内視鏡的な画像診断・治療手技の発達に伴い、リンパ節転移の可能性が極めて低い早期胃がん病変に対してはESD※（内視鏡的粘膜下層剥離術）を第一選択として治療を行っております。※Endoscopic Submucosal Dissection

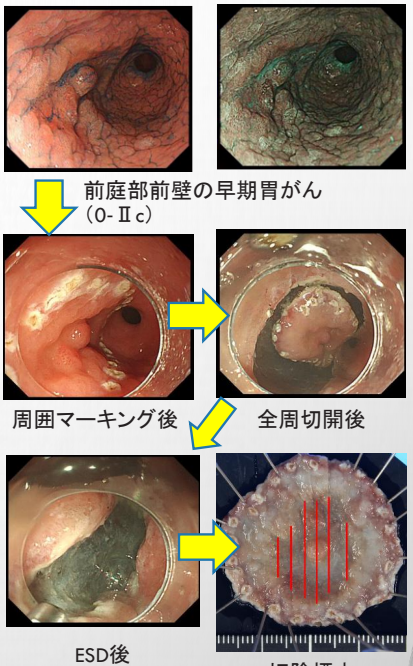
ESDとは…

適応	粘膜に留まる浅い深達度の早期胃がん（リンパ節も含めた転移の可能性がないもの）
治療時間	平均約1時間程度（鎮静剤を使用して行います）
入院期間	約1週間程度
利点	胃を温存可能で低侵襲
限界	リンパ節などの転移リスクがある場合は外科手術に
合併症	出血・穿孔など（手技や治療具の発達により減少傾向）



当院医師によるESD術中の様子

ESD手順



早期胃がんに限らず、当院では治療方針に関して検討が必要な場合は消化器内科・消化器外科・腫瘍内科・放射線科（放射線治療）・病理診断科など複数診療科の医師でキャンサーボードを行い治療法の選択を行っております。

胃がんは、早期の段階で見つかれば侵襲の少ない内視鏡治療が適応になります。
諸先生方におかれましては、胃がん検診などで異常が見つかった際はいつでもご相談下さい。

【胃がんホットライン(疑い含む)(平日・月～金 8:30～17:00)】
連絡先：TEL：090-9133-9387FAX：022-293-0709
・電話は予約センターにつながります。
・FAXは専用フォームで申し込みください。
・胃がん紹介患者の即予約が可能です。
・専門医師に直接ご相談の場合は、申し出ください。

消化器内科
上部消化管専門医師



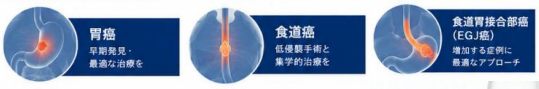
荒 誠之　　高橋 靖

国立病院機構仙台医療センター　外科

胃癌・食道癌・食道胃接合部癌の

ご紹介・ご相談は

胃がん ホットライン





当院医師による「da Vinci胃がん手術」の様子

迅速なご相談が、最適な治療につながります。

当院では、胃癌・食道癌・食道胃接合部癌に対し、専門的な診断と集学的治療を提供しています。
開業医の先生からのご紹介・ご相談をいつでも受け付けております。

手術・低侵襲治療

当院は、日本胃癌学会認定施設A、食道外科専門医準認定施設として、胃癌・食道癌・食道胃接合部癌に対する高度専門診療を行っています。da Vinci Xi surgical systemを用いたロボット支援手術を積極的に導入し、高精細3D視野と多関節鉗子を活かした精緻なリンパ節郭清・再建を実践しています。低侵襲でありながら根治性を重視し、術後疼痛軽減や早期回復にも配慮した治療を提供しています。

進行胃癌・食道胃接合部癌に対する集学的治療

当院では、外科・消化器内科・腫瘍内科が連携した集学的治療を行っています。術前・術後化学療法と外科治療を組み合わせ、患者ごとに最適な治療戦略を構築しています。また、JCOG胃癌グループ参加施設として、最新のエビデンスや臨床研究に基づく診療を実践しています。診断から術後フォローまで地域連携を重視した診療を提供しています。

当院が選ばれる理由

専門チームによる集学的治療

外科・消化器内科・放射線科・腫瘍内科・緩和ケアなど、多職種で最適な治療を提供します。

入院中のサポート体制

周術期リハビリテーション(嚥下リハビリを含む)と栄養サポートを多職種で提供し、ADLの維持・向上と早期回復・退院を支援しています。

開業医の先生との強い連携

手術・化学療法など専門的治療は当院で行い、安定後は地域の先生方へお戻しすることで、切れ目のない連携を大切にしています。

臨床研究参加体制と関連団体

・JCOG胃癌グループ
　参加施設
・胃切除後障害対応施設
・胃を切った人友の会
　アルファ・クラブ病院会員

【胃がんホットライン(月～金8:30～17:00)】

連絡先:
TEL:090-9133-9387
FAX:022-293-0709

- **電話は予約センターにつながります。**
- **FAXは専用フォームで申し込みください。**
- **胃がん紹介患者の即予約が可能です。**
- **専門医師に直接ご相談の場合は、申し出ください。**



“大腸がんホットライン”のお知らせ

国立病院機構仙台医療センター 外 科

当院の大腸がん治療について

腹腔鏡手術

当院では年間約100件の大腸癌手術を行っており、その約8割が腹腔鏡手術です。腹腔鏡手術は傷が小さく、整容性に優れており、痛みが少なく、術後の回復が早いというメリットがあります。

当院では日本内視鏡外科学会で認定を受けた技術認定医（大腸）が在籍しており、安全にかつ積極的に腹腔鏡手術を導入しております。

ロボット支援下手術

ロボット支援下手術は2018年より直腸癌に対し保険収載され、2022年より結腸癌に対しても適応が拡大しております。

ロボット支援下手術はダビンチというロボットを用いて腹腔鏡手術を行います。人間の手を超えた動きが可能な多関節を備えた鉗子、手振れを補正する機能が備わっており、繊細で正確な手術が可能となっております。腹腔鏡カメラは立体視が可能な3D高精細カメラであり腹腔鏡手術では確認できなかった細かな解剖を視認しながら手術を遂行できます。

当院ではいち早く2015年からロボット支援下手術を導入しており、現在ダビンチXi2台体制で大腸癌手術を行っており、ほとんどの大腸癌手術がロボット支援下手術で行われております。

ロボット支援下手術の指導医である日本内視鏡外科学会認定プロクター（大腸）が在籍しており、安全にロボット支援下手術を行っております。

～当院医師によるダヴィンチ直腸癌手術の様子～





～大腸がんホットライン～
平日　月曜日～金曜日　8:30 ～ 17:00
連絡先
TEL:090-9133-9387
FAX:022-293-0709
・大腸がん治療の予約が即可能です。
・FAXの場合は専用フォームでお申し込みください。
・専門医師に直接ご相談の場合はお申し出ください。

国立病院機構仙台医療センター 外 科

当院の大腸がん治療について

TaTME

肛門に近い癌の手術では永久人工肛門が必要となる可能性が高くなりますが、当院ではTaTME（経肛門的直腸間膜全切除）という手技を導入しており、肛門温存が可能となる症例が増えております。ただし癌の進行具合により、永久人工肛門が必要となる症例もあります。

術前化学放射線療法

局所進行下部直腸癌に対しては、術前に化学療法と放射線治療を行う術前化学放射線療法を施行することで腫瘍の縮小を得てから手術を行う方針としております。腫瘍が縮小し、肛門からの距離が確保できて本来永久人工肛門が必要であった症例が肛門温存が可能となることもあります。

大腸癌研究会施設会員

当院は、大腸癌治療ガイドラインや大腸癌取り扱い規約を作成するなど大腸癌の研究・診療を牽引している大腸癌研究会の施設会員であり、日本の大腸癌治療の発展に貢献しております。

WOCナース

当院には一時的あるいは永久的人工肛門（ストマ）が必要となる患者様に対して人工肛門管理のスペシャリストであるWOCナースが在籍しており、ストマ外来を開設しております。ストマが必要となる患者様も安心して手術を受けて頂くことができる環境となっております。

スタッフ紹介





“炎症性腸疾患(IBD)ホットライン“のお知らせ

国立病院機構仙台医療センター　消化器内科

当院のIBD治療について

IBDの患者さんは年々増加しています。当院では、治験を含め最新の治療を行っており、炎症性腸疾患・大腸内視鏡を専門とする医師が対応します。
(ご希望があれば女性医師の対応も可能です。)

日頃の診療において「治療方針に悩む・・・」などありましたら、何でもお気軽にご相談ください。

また、大腸がん・大腸ポリープなども是非当院にご紹介ください。



潰瘍性大腸炎の患者の内視鏡検査を行う女性医師



外来看護師による自己注射の指導

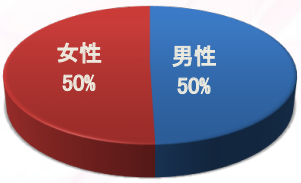


栄養指導の様子

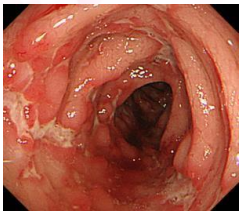
当科外来IBD通院患者数

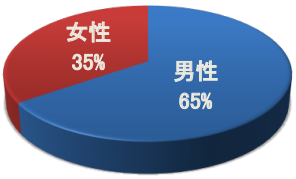
潰瘍性大腸炎（UC）　401名





クローン病（CD）　103名





～IBDホットライン～
（平日　月～金 8:30～17:00）
連絡先　TEL：090-9133-9387
FAX：022-293-0709

・「IBD」治療の予約が即可能です。
・電話は予約センターに繋がります。
・FAXは専用フォームでお申し込みください。
・専門医師に直接ご相談の場合は、お申し出ください。



消化器内科部長
岩渕　正広



消化器内科医長
杉村　美華子

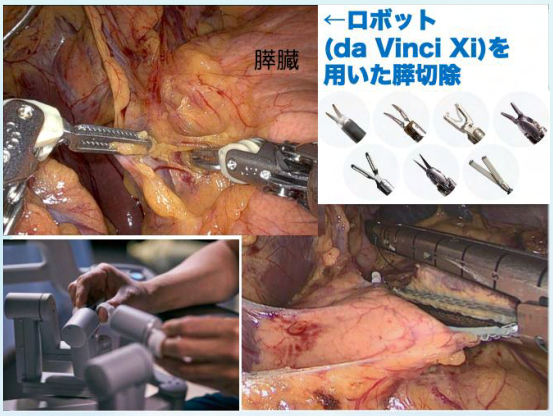
“肝胆膵悪性腫瘍ホットライン“のお知らせ

国立病院機構仙台医療センター 消化器内科・外科

当院の膵腫瘍の治療について

膵臓がんと診断された場合には、手術前に抗癌剤治療を行ってから切除することで術後の再発率が下がることが証明されています。
当院では個々の進行度に応じて**術前化学療法、術前放射線治療、審査腹腔鏡など**を行い、がんを遺残なく切除することを心がけています。

膵臓がんの手術では、膵頭十二指腸切除術、膵体尾部切除術、膵全摘術など、腫瘍の局在や範囲に合わせて術式を決定し、門脈・動脈浸潤症例では**血管合併切除**も積極的に行っています。



症例によっては**腹腔鏡下手術、ロボット支援手術（da Vinci Xi）**を用いたMIS（minimally invasive surgery:低侵襲手術）も導入し、小さな傷で早期退院、早期社会復帰を可能としています。

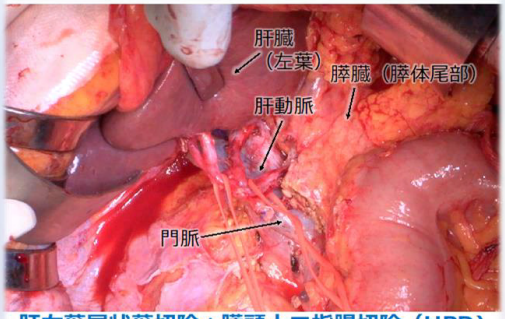
切除困難・不能な症例については化学（放射線）療法を行い、一定の効果が得られた場合には切除を行う**コンバージョン手術**も行っており、比較的良好な予後が得られています。

低悪性度膵腫瘍（IPMNや神経内分泌腫瘍）などについても治療をおこなっています。

当院の胆道腫瘍の治療について

乳頭部がん、胆管がん、胆嚢がんなどの胆道癌は、がんの局在や進行度によって膵臓や肝臓（あるいはその両方）を切除する技術的に大変難しい大きな手術が必要となります。
消化器内科と協力をしながら腫瘍の進展範囲、進行度を術前に診断し、根治性と安全性を両立しながら治療を行っています。

切除困難症例については化学療法を行い、一定の効果が得られてから切除を行う**コンバージョン手術**も行っています。



肝右葉尾状葉切除＋膵頭十二指腸切除（HPD）

病巣の正確な進展範囲の診断のために黄疸症例は是非、**減黄前**にご紹介下さい

～肝胆膵腫瘍ホットライン～

平日　月～ 金曜日　8：30 ～ 17：00
予約センター　　TEL：090-9133-9387　　FAX：022-293-0709

- 肝胆膵疾患の診療予約が即可能です
- FAXの場合は専用フォームでお申し込みください
- 専門医師に直接ご相談をされたい場合にはお申し出ください

当院には『**肝臓学会専門医**』・『**胆道学会指導医**』・『**膵臓学会指導医**』にくわえ、日本肝胆膵外科学会『**高度技能専門医**』・日本内視鏡学会『**技術認定医**』が多数在籍しており、**高難度手術から低侵襲治療までスペシャリストが診断、治療、手術にあたっています。**

“肝胆膵悪性腫瘍ホットライン”のお知らせ

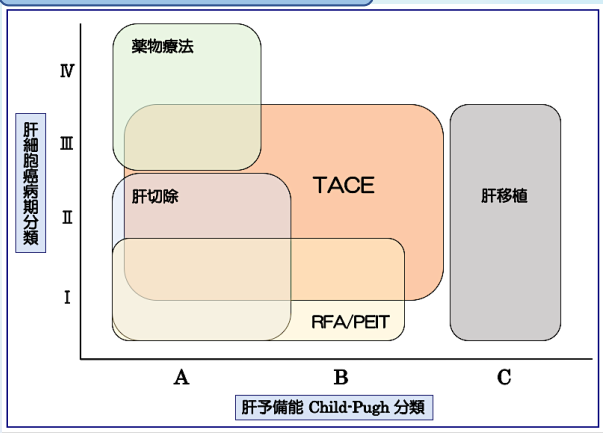
国立病院機構仙台医療センター 消化器内科・外科

当院の肝腫瘍の治療について

原発性肝癌

下図のように、肝予備能や腫瘍条件が良ければ根治的治療としての「**外科手術**」や「**ラジオ波焼灼(RFA)**」を積極的に行なっています。しかしその他の場合でも、「**全身化学療法**」や「**肝動脈化学塞栓術(TACE)**」，「**放射線治療**」等の治療選択肢があります。

肝がん治療法選択座標図

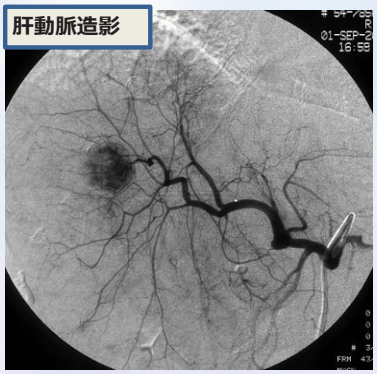


当院のTACEの特徴

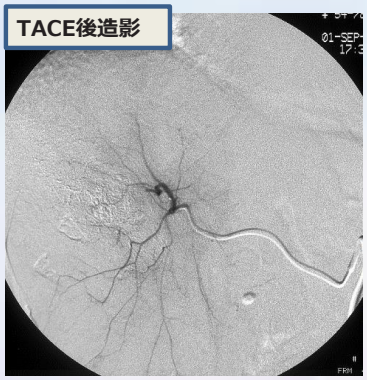
少量の塞栓材料を用いたマイルドなものからマイクロバルーンカテーテルを使用し塞栓材料を強力に注入可能なバルーン閉塞下TACE(B-TACE)まで、患者に応じて使い分けることで、より多くの症例に適応可能となっているのが特徴です。また肝予備能に応じた分子標的薬併用療法の経験も豊富なため、より多くの患者でOSの延長に貢献できると考えています。



使用DSA装置は2022年3月稼働の最新式Philips社製



A7選択的にマイクロカテを挿入し、抗癌剤動注後ゼラチンスポンジで塞栓



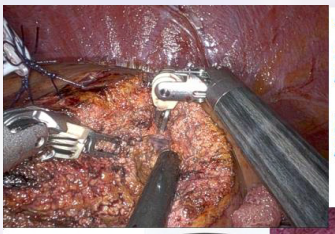
腫瘍濃染の造影欠損を確認
周辺の血管は温存されている

転移性肝腫瘍

大腸がんの肝転移は全ての病変の切除が可能であれば、切除の良い適応となります。その他の臓器のがんからの**転移性肝腫瘍**については、時に化学療法を組み合わせながら、ガイドラインに則って治療・切除を行っています。

また、当初切除不能と考えられた肝転移症例も化学療法が奏効し切除できることがあります（**conversion surgery**）。

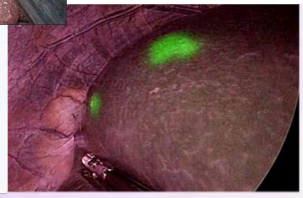
まずは一度当院にご相談ください。



←ロボット(da Vinci Xi)を用いた肝切除



ICG蛍光標識による肝転移巣の描出
↓



肝切除も可能な限り**腹腔鏡やロボット(da Vinci Xi)を用いて低侵襲手術**を行っています

FAX・ WEB 予約用 紹介受診者票

年　月　日

宛先　FAX 022－293－0709　　仙台医療センター紹介予約センター 行

〒 983－8520 仙台市宮城野区宮城野2－11－12 TEL 022－293－0703

※夜間(17:15～)と土日祝日は連携室担当者不在です。休み明けのお返事となりますのでご了承ください。

※緊急時:平日日中 022-293-1111(代表)に、 夜間(17:15～)と土日祝日 022-293-1119(時間外受付)へお電話下さい。

※産科は《産科専用》FAX紹介受診者票でお申し込み下さい。

※WEB予約の申込の場合、予約票の返信は有りません。

▼発信元情報▼

医療機関名:	紹介状記載医師名:
電話番号:	FAX:

▼患者情報▼

フリガナ	生年月日: M・T・S・H・R　年　月　日(　歳)
お名前　様(男・女)	電話番号:　携帯番号:
住 所　〒　－	
当院受診歴:　無 ・ 有　(旧姓　)	来院方法 : 諸車 ・ 徒歩 ・ ストレッチャー ・ 車イス

▼診療科および依頼内容▼　当該科の新患日、休診日をご確認下さい。

一般 ・ WEB ←どちらかに○をお願い致します。(WEB予約は脳神経外科・外科・消化器内科となっております)

◇ 脳神経外科 ◇ 外科 ◇ 総合診療科 ◇ 内分泌・代謝内科 ◇ 血液内科 ◇ 脳神経内科 ◇ 呼吸器内科 ◇ 消化器内科
◇ 循環器内科 ◇ 小児科 ◇ 小児外科 ◇ 乳腺外科 ◇ 形成外科 ◇ 呼吸器外科 ◇ 心臓血管外科 ◇ 皮膚科
◇ 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 ◇ 歯科口腔外科 ◇ 泌尿器科 ◇ 眼科
◇ 婦人科 ・ 一般 ◇ 婦人科 ・ 緊急時対応 (分娩予定日　月　日)

※確認が必要な科(お返事に時間が掛かることがあります。)

◇ 腎臓内科 ◇ 感染症内科 ◇ 腫瘍内科 ◇緩和ケア内科 ◇ 放射線科(治療) ◇ 整形外科 ◇ 精神科

□ 既に電話等で相談済み (医師名:　) (　月　日)

□ 希望担当医 : □ 有 (医師名:　) □ 無

希望予約日: 第1希望　月　日、第2希望　月　日、第3希望　月　日

※希望日がない場合又は希望日で予約が取れない場合は、最短日で予約をお取りします。
都合が悪い時は連携室までご連絡下さい(患者様からでも可) ⇒ 022-293-0703

傷病名(主訴)	
紹介目的	精査 ・ 治療 ・ 手術 (適応可否含む) ・ その他
経過概要 その他連絡事項等	※診療情報提供書を添付頂ける場合は記入不要です (診療情報提供書(原本)は患者様にお渡し下さい)

※ 下記は記入しないでください。

ID番号	受診実績　無 ・ 有 (　年　月頃　科)

(R8.7月 更新)

産科専用　FAX紹介受診者票　（兼　診療情報提供書）　　年　月　日

宛先　FAX　０２２－２９３－０７０９　　**仙台医療センター紹介予約センター　行**

983-8520　仙台市宮城野区宮城野２－11－12　TEL022-293-0703

※夜間(17:15～)　土日祝日は連携室担当者不在の為、翌日または休日明けのお返事となりますのでご了承下さい。

緊急の場合 平日の日中の時間帯は、　TEL 022-293-1111にお掛けください。

平日17:15以降.土日祝日は　TEL 022-293-1119にお掛けください。

▼発信元情報▼

医療機関名：	御担当医名　（紹介状記載医師名をご記入下さい）
電話番号：	FAX番号：

▼患者情報▼

フリガナ	生年月日：S.H.　年　月　日（　歳）
お名前	外国人の方（国籍 ：　）
住所　〒　－	
電話番号：	携帯番号：
当院受診歴：　無　有　（旧姓　）	

▼依頼内容▼

週数(最終月経) 分娩予定日	妊娠　週(最終月経　年　月　日)　※申込時７週以降 年　月　日（□最終月経より　□CRLより　□その他　）
紹介目的	□分娩予約　□その他（　）
経過概要 その他連絡事項等 ※必ず記載をお願いします。	胎動心拍確認日　年　月　日(CRL　mm) ※申込時CRL10mm以上 □初産　□　経産(経腟分娩　回、帝王切開　回) 婦人科的合併症　□　なし　□　あり　（　） 他科合併症　□　なし　□　あり　（　） 既往出産時の異常　□　なし　□　あり　（　） その他連絡事項：
	※以下の事項につきご確認ください。 □他の分娩施設を予約していません 日本語が不自由な方は通訳が出来る方と一緒に来院頂くか、翻訳機の準備は致しますが、 お持ちの翻訳ソフトがあればご持参下さい。

診療情報提供書として本状を使用される場合、追加情報がございましたら別紙にて本状に添付をお願いします。

下記は記入しないでください。

ID番号：	受診実績　無・有（　年　月頃　科）

R6/12月更新

FAXホットライン 紹介受診者票 （消化器内科・外科 専用）	令和　年　月　日

宛先　FAX 022－293－0709

仙台医療センター紹介予約センター 行
TEL 090-9133-9387

※夜間(17:15～)、土日祝は連携室担当者不在のため、休日明けのお返事となりますのでご了承ください。

※緊急の場合、平日日中の時間帯はTEL 022－293－1111におかけ下さい。平日 17:15以降・土日祝はTEL022－293－1119

▼発信元情報▼

医療機関名:	御担当医名: (紹介状記載医師名をご記入下さい)
電話番号:	FAX:

▼患者情報▼

フリガナ	生年月日: M・T・S・H・R　年　月　日(　歳)
お名前　様(男・女)	電話番号:　携帯番号:
当院受診歴:　無 ・ 有　(旧姓　)	来院方法 : 諸車 ・ 徒歩 ・ ストレッチャー ・ 車イス
(当院ID:　)	

	依頼内容	対応曜日	食事の可否	診療科
	大腸がん (疑い含む)	原則 月曜日	食事可	外科
	胃がん (疑い含む)	原則 火・水曜日	昼食止め	外科・消化器内科 2科受診となります
	IBDホットライン (疑い含む)	原則 火・水曜日	食事可	消化器内科
	肝胆膵腫瘍 (疑い含む) (肝がんは金曜日のみ)	原則 木・金曜日	食事不可	外科

※診療情報提供書が出来ましたら事前にFAXをお願い致します。

希望予約日	第1希望 :　月　日　第2希望 :　月　日　第3希望 :　月　日
傷病名(主訴)	
紹介目的	精査 ・ 治療 ・ 手術 (適応可否含む) ・ その他
経過概要 その他連絡事項等	お申込みの際に、診療情報提供書を添付頂ける場合は記入不要です (原本は患者様にお渡し下さい)

※ 下記は記入しないでください。

ID番号	受診実績　無 ・ 有　(　年　月頃　科)

(R8.4月 更新)

CT・MRI・乳房撮影・核医学検査専用　紹介受診者票(紹介医→地域医療連携室)

年　　月　　日

FAX　022-293-0709

独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター地域医療連携室　行

〒983-8520 仙台市宮城野区宮城野2-11-12　　TEL022-293-0703

※夜間（17：15～）土日祝日は連携室担当者不在のため、翌日または休日明けのお返事となりますのでご了承下さい。
緊急時の場合はTEL022-293-1111におかけいただき、各診療科に直接ご連絡下さい。
当該診療科で対応いたします。
時間外、土日祝日の緊急時はＴＥＬ022-293-1119へご連絡下さい。

▼発信元情報▼　　※太枠内をご記入の上、上記FAX番号までご送信ください。

医療機関名	:
御担当医名	:
住　所	:
TEL・FAX	:TEL　　FAX

▼患者情報▼

フリガナ		生年月日	Ｍ・Ｔ・Ｓ・Ｈ・Ｒ 年　月　日（　歳）
お名前	様(男・女)		
住　所	〒　　－		
TEL	（　　）　　－		

▼検査希望内容▼検査結果はCD－Rにてお渡しいたします。

検査内容	□CT　□MRI　□核医学　□乳房撮影
検査部位 臨床診断	検査部位（　　）　臨床診断（　　）
造　影	無 ・ 有　＊有りの場合以下をご記入ください
	●腎機能障害 無 ・ 有 血清クレアチニン(SCr)値＿＿mg/dl **＊1.2mg/dl以上は造影できません**　検査日　年　月　日
	●造影剤の副作用の既往　無 ・ 有
	●喘　息　無 ・ 有
	●ビグアナイド系糖尿病薬の服用　【CT造影の方のみ】 （検査日2日前、当日、検査日2日後、休薬となります。）　無 ・ 有
MRI検査 必須項目	**○MRI注意事項（医療安全上必須）** **ペースメーカー・DBS等体内精密機器がある場合は、原則撮影できません。**
	○体内金属人工物　（有の場合は下記に回答願います。）　無 ・ 有
	○MRI対応　可（1.5Tまで　3.0Tまで　不明）・ 不可 （不可の場合は撮影できません）
	MRI対応可の時は下記の該当するところに○をつけてください。 外科用クリップ、人工関節、人工弁、骨折接合材、その他（　　）
	○閉所恐怖症　無 ・ 有
検査希望日	無 ・ 有　○第1希望　月　日（　）　○第2希望　月　日（　）
	CT　木・金　10時30分　（来院時間 9:30）
	MRI　木（頭頚部のみ）　15時00分　（来院時間14:00）
	MRI　金（体幹部のみ）　15時00分　（来院時間14:00）
	乳房撮影は月～木の9時から15時までの間で予約しております。 （それ以外の曜日、時間及び核医学につきましてはご相談下さい。）

※下記は記入しないでください。

ID番号		受診実績	無・有（　年　月頃　科）

令和　年　月　日

紹介患者予約票

紹介元

氏名　　様（　）　　（　　歳）

予約日時　令和　　年　　月　　日（　）

診療科　　科　　（担当医：　　）

当日は　　：　　まで「はじめての方窓口」にお越し下さい。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

※ 予約時間は外来での受付時間です。
診察予約時間ではございません。

※ 前の患者様の診察状況によって、お待ちいただく場合がございますのでご了承ください。

※ 当日、熱、風邪症状のある時は来院前にご連絡下さい。

当日は　：　まで「はじめての方窓口」に本票など下記①～⑥をご提示ください。

[ご持参いただくもの]

① 本票（紹介患者予約票）
② マイナンバーカード（お持ちでない方は資格確認書をお持ちください）
③ 公費受給者証（ある方はお持ちください）
④ 紹介状　（診療情報提供書）
⑤ お薬手帳（ある方はお持ちください）
⑥ 既に仙台医療センターの診察券のある方は、必ず診察券をお持ちください

※この票を受け取ったときに氏名をご確認ください。
誤りがある場合は、当院地域医療連携室までご連絡ください。

※予約日に来院できない場合は、ご面倒でも当院地域医療連携室までご連絡ください。

独立行政法人国立病院機構
仙台医療センター地域医療連携室
仙台市宮城野区宮城野２丁目１１－１２
TEL　022-293-0703
FAX　022-293-0709

当院で診察をお受けになる患者さんへの問診票 ID:

あなたのお名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 代理者名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 年 月 日

この用紙は患者さんが安心して診療を受けていただけるための問診票です。
可能な限り、以下の点についてご記入ください。
該当する項目には〇をつけてください。 また、自由記入欄には直接お書きください。
なお、この問診票は、プライバシーに配慮し、診療以外には利用いたしません。

1. 渡航歴について
①過去１ヶ月以内に海外旅行されましたか。(はい 、 いいえ)
②どこの国に旅行されましたか。(国名:)
③旅行期間はどの程度ですか( )

2. 薬や食べ物でじんましんや呼吸が苦しくなるアレルギーや副作用等について
① 薬でなったことがありますか？ (ある、 ない)
その薬は何ですか (薬品名: 、抗生物質、 造影剤、 ピリン系、その他:)
どんな症状でしたか ( )
② 食物でなったことがありますか？ (ある、 ない)
その食物は何ですか (食べ物:)
どんな症状でしたか( )
③ その他 医師から禁じられている薬や食べ物などがあればご記入下さい.
( )
④ 薬や食物以外のアレルギーや禁じられていることはありますか (ある、 ない)
( )
⑤ 造影剤でなったことがありますか (ある、 ない)
検査名(CT・MR 等わかる範囲で), 薬品名(わかる範囲で), どんな症状でしたか
( )
3. あなたの安全のために、以下の身体的な質問について〇をつけてお答え下さい
① 現在以下の病気がある (喘息、 緑内障、 前立腺肥大、 消化性潰瘍、 重症筋無力症)

② 以下の障害がある (手足の動き, 聴くこと, 視ること, 言語, 排泄)
③ その他身体に不自由な部分がある (はい、 いいえ)
それはどこですか? ( )
④ 心臓にペースメーカーが挿入されている＊ (はい、 いいえ)
体内に金属がある (はい、 いいえ) ＊
「はい」 の場合, どこにどのような金属ですか＊( )

女性の方にお聞きします。
⑤ 妊娠中である (妊娠中、 可能性あり、 いいえ)
⑥ 授乳中である (授乳中、 いいえ)
*妊娠反応を確認する検査は自己負担となる場合があります。

4. あなたの病気についてご説明するにあたって、あなたのお考えをお知らせください。該当するところに〇をつけてください
① 自分の病気のことはすべて知りたい
② がんなどの悪性の病気の時は、病名や病状を知りたくない
③ がんなどの悪性の病気の時は、病名や病状を知るかどうかは家族の判断にまかせる
④ 今はわからない
もし、あなたの病名や病気の治療について、あなた以外にお話する必要がある場合はどなたにお話すればよろしいですか?
その方のお名前( ) ご関係( ) 電話連絡先( )

入力上の注意: 「 ＊」の項目の電子カルテ記載は, 1-④の「その他の禁忌」欄に入力して下さい.

5. 今、飲まれている薬がありますか（ ある、 ない ） お薬そのものかお薬手帳を見せて下さい
以下のお薬を服用していますか
（血糖を下げる薬, 血液をさらさらにする薬, 抗がん剤, サレド・レプラミド ）

6. いままでかかった病気について おうかがいします

かかった年齢	病 名	入院の有無と回数	手術の有無	医療機関	現在の状態
歳		無 有 回	無 有	当院 他院 入院 通院 在宅	治癒 治療中
歳		無 有 回	無 有	当院 他院 入院 通院 在宅	治癒 治療中
歳		無 有 回	無 有	当院 他院 入院 通院 在宅	治癒 治療中
歳		無 有 回	無 有	当院 他院 入院 通院 在宅	治癒 治療中
歳		無 有 回	無 有	当院 他院 入院 通院 在宅	治癒 治療中

7. 今回受診された経過について おうかがいします
受診のきっかけとなったことについて （症状や検診など）

いつ頃 年 月 日頃
どのような症状やきっかけがありましたか

その後当院を受診されるまでの経過を簡単に書いて下さい

月 日頃

月 日頃

月 日頃

月 日頃

8. 他にご希望や伝えておきたいことがありましたらご記入ください

ご協力ありがとうございました.
当院では、患者さんをお名前でお呼びいたしております。ご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。
なお、不都合がありましたら、看護師にご相談ください.

入力上の注意：「 ＊」の項目の電子カルテ記載は，1-④の「その他の禁忌」欄に入力して下さい.

診　察　申　込　書

《仙台医療センターを**はじめて受診**される方用》

年　　月　　日

フリガナ		性別	男 ・ 女
氏　　名			
生年月日	明治 ・ 大正 ・ 昭和 ・ 平成 ・ 令和　　年　　月　　日	年齢	歳
住　　所	〒　　－ 電話番号　　（　　）		
勤務先名	電話番号　　（　　）		
職　　業			
被保険者		続 柄	

1　現在、他病院に入院中ですか。　（　はい　・　いいえ　）

2　紹介状はお持ちですか。　（　はい　・　いいえ　）

3　交通事故による受診ですか。　（　はい　・　いいえ　）　→　裏面をご確認ください

4　仕事中のけが・病気による受診ですか。　（　はい　・　いいえ　）

5　最近、時間外に救急外来を受診されたことがありますか。　（　はい　　月　　日　・　いいえ　）

6　受診したい診療科を〇で囲んでください。

・総合診療科　・内分泌・代謝内科　・膠原病内科　・血液内科　・感染症内科
・腫瘍内科　・緩和ケア内科　・精神科　・神経内科　・呼吸器内科
・消化器内科　・循環器内科　・小児科　・新生児科　・外科
・乳腺外科　・整形外科　・形成外科　・脳神経外科　・呼吸器外科
・心臓血管外科　・小児外科　・皮膚科　・泌尿器科　・産科
・婦人科　・眼科　・耳鼻咽喉科・頭頸部外科　・放射線科
・救急科　・歯科口腔外科

※紹介状を持参していない方で、どの診療科を受診してよいかわからない方は、下欄に**一番つらい症状**をご記入ください。

※記載後、2番新患受付までご提出願います。

下記の欄は記入しないでください。

保険者番号			本人・家族
記号番号		資格取得	年　月　日から
被保険者		有効期限	年　月　日から

保険者番号		資格取得	年　月　日から
記号番号			

問診	入力	受付・案内	総入力	総 受付・連絡	確認

登録番号



がん診療連携室のご案内

1 がん診療連携室のご案内

がん診療連携室について

当院は2006年より厚生労働省から「地域がん診療拠点病院」に指定され、がんの診断、外科手術はもとより、がん薬物療法、放射線治療、緩和治療のための設備充実、診療の質向上に継続的に努めています。また、専門的ながん診療の提供はもちろん、地域のがん診療の連携協力体制の構築、がん患者に対する相談支援、及び情報提供等を行なっています。患者さん・ご家族、地域の皆さんの不安や悩みをできるだけ払拭し、よりよい医療が受けられるように取り組んでいます。毎年秋にがん市民医学講座を開催して多くの聴講者にご参加いただいています。また2025年10月より宮城県からがんゲノム連携病院の指定を受け血液がん遺伝子パネル検査（ヘムサイト）を開始しました。

これからも継続的に質の高い医療を行なっていくように努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

がん診療推進委員会スタッフ紹介（2026・5）



委員長・がん診療連携室長（がん相談担当・腫瘍内科）	鈴木貴夫
副院長（産婦人科）	新倉仁
臨床研究部長（血液内科）	和泉透
低侵襲治療部長（泌尿器科）	斎藤英郎
副がん診療連携室室長（地域連携担当・呼吸器外科）	羽隅透
副がん診療連携室室長（緩和ケア担当・緩和ケア内科）	高橋通規
副がん診療連携室室長（がん登録担当・外科）	湯目玄
看護部長（看護部会担当）	小山三恵子
放射線科医長（放射線治療担当）	奈良崎覚太朗
歯科口腔外科医長（口腔ケア担当）	後藤哲
腫瘍内科医長（化学療法・AYA世代担当）	秋山聖子
理学療法士（がんリハビリ担当）	野田加奈子
がん診療連携係長（看護師長/がん看護専門看護師）	細矢美紀
副看護師長（がん看護専門看護師/がん性疼痛看護認定看護師）	髙橋紀子
認定看護師（緩和ケア、がんゲノム連携担当）	菅原甲子
医療社会事業専門員	工藤千春
情報管理専門職（がん登録）	助川素子
管理課長	齋藤邦彦
乳腺外科医長	伊藤淳
臨床検査科長	伊丹弘恵
外来化学療法主任	鈴木訓史
地域医療連携係長	阿部直美
看護師長	小林晴美
地域医療連携室 事務助手	岩渕由香

がん治療

外科治療や内視鏡治療は、がん患者さんに質の高い医療提供を行う目的として、当院の消化器内科及び外科が共同で「胃がんホットライン」「大腸がんホットライン」「肝胆膵悪性腫瘍ホットライン」を開設しております。それぞれ専門とする医師が外科・消化器内科と連携し最適な方法で治療を行います。

化学療法（がん薬物療法）は外来を中心に行っており、外来化学療法室は24床（ベッド14床、リクライニングソファ10床）あり、病院の2階の東側に面しており採光も良く、落ち着いて暖かい雰囲気となっております。治療中は読書や音楽・DVD鑑賞、TV視聴ができる環境を提供しています。パウダールームもご利用いただけます。外来化学療法室では各科医師・外来看護師・がん化学療法認定看護師・がん専門薬剤師と情報共有を図りながら患者支援に取り組んでいます。外来治療導入時や治療内容変更時に常駐している薬剤師が薬の説明・指導を行っています。また、食欲不振や味覚異常で食事に困っている場合は栄養士による栄養相談、医療費負担や就労支援・在宅支援については相談支援センターへの相談が可能です。

放射線治療は、通常放射線治療はもとより、定位放射線治療（SRT）・画像誘導放射線治療（IGRT）・強度変調放射線治療（IMRT）を備え、また緩和照射にも直ちに対応します。その治療機器を十分使いこなせる治療専門医・医学物理士・治療技師・看護師が常勤しています。

当院では「がんの緩和放射線治療」に積極的に取り組んでいます。症状緩和目的に適応のあるなしを含めて気軽にご相談下さい。（放射線科・がん相談支援センター）

血液がんの遺伝子パネル検査は、2025年3月から保険適応となったもので、国立がん研究センターと大塚製薬が共同で開発した国産の造血器腫瘍遺伝子パネル検査「ヘムサイト®」と呼ばれる検査です。目的は診断・治療・予後予測に利用されます。検査料は固形がんと同じ56万円のうちの自己負担分となります。検査のタイミングは血液がんの種類により異なっており基本的には主治医が決定します。

AYA世代支援チーム（Adolescent and Young Adult：思春期・若年成人）

AYA世代のがん患者さんを支援することを目指して、2022年より活動しています。AYA世代専用のシートを用いてつらさのスクリーニングを行い、身体的な問題（外見の変化、様々な症状など）、家族に関する問題（家族との関わり、妊孕性のことなど）、日常生活に関する問題（お金に関すること、家事、育児、仕事、学校など）、気持ちに関する問題（気持ちの落ち込み、不安など）等について情報提供、個々の悩みについての相談および意思決定支援、アピアランスケアを行っています。

手術や化学療法、放射線療法の直接的な障害、抗がん剤の副作用などによって妊孕性が損なわれる場合は、「宮城県がん・生殖医療ネットワーク」を通して、妊孕性温存をサポートしています。対象となりうる患者さんや家族には必ず治療開始前に情報提供し、患者さんの希望を確認するとともに、がん治療を行う診療科が中心となって、地域の生殖医療に関する診療機関とともに妊孕性温存療法およびがん治療後の生殖補助医療に関する情報提供および意思決定支援を行います。

がん登録

当院では、がんと診断されたすべての患者さんに対して、患者さんの受診状況・経緯・治療等、様々なデータを集めて登録しています。これらのデータは厳重に管理されて国立がん研究センターのデータに集約されており、がん情報サービス（https://ganjoho.jp）として一般に公開されています。また登録されたデータの一部は当院のホームページでも公開しています（https://nsmc.hosp.go.jp/Cooperation/gan_renkei.php#gantouroku）

がん相談

がんに関わる事柄でお悩みの患者さんやご家族の方々が安心してご相談いただける窓口として「がん相談支援センター」を設置しています。療養に関しての不安・心配、粒子線治療や高度先進医療を含むがん治療の情報、医療費、がん遺伝子パネル検査、AYA世代の妊孕性温存、社会資源の活用等について医療ソーシャルワーカー・看護師が、窓口あるいは電話、インターネットでのオンライン相談（CLINCS）で、随時相談を受けております。

専門看護師・認定看護師によるがん相談

がんの専門的知識を持ったがん看護専門看護師・がん関連分野の認定看護師（がん化学療法看護・緩和ケア・がん性疼痛看護・放射線治療看護）が、不安や悩みの相談をお受けしております。予約制ですので、地域医療連携室でお申し込みをしてください。

がん地域連携クリティカルパス

「診療計画表」と患者さん用「私のカルテ」を活用し、かかりつけ医と当院の医師が協力して患者さんの治療を行なうことです。定期的な受診はかかりつけ医に、専門的な治療や緊急を要する場合は当院で対応をします。

セカンドオピニオン（対面とオンライン可能）

患者さん、あるいは、患者さんの担当医からのがんに関するセカンドオピニオンの希望がありましたら、2週間以内に対応させていただきます。

完全予約制です。オンラインでのセカンドオピニオンも可能です。

がんサロン

がん患者さん、ご家族の方々の情報交換と交流の場として奇数月第3木曜日13:30～開催しています。申し込み不要・参加費無料ですので、お気軽にご参加ください。

マンマサロン（ピアサポーターによる乳がん患者サロン）

NPO法人キャンサーネットジャパンのコーディネーター（BEC）を修了、またはピンクリボンアドバイザー初級認定を受けた乳がん体験者のピアサポーターが中心となって開催しています。偶数月第3木曜日13：00～予約制（当日参加も可能）、参加費無料です。

緩和ケア勉強会

緩和ケアとは、病気にかかり、辛い症状が出現したときに、それらの症状を和らげ、患者さんと家族ができるだけ、その人らしい生活を送ることができるようにすることを目的としています。緩和ケア勉強会は、専門家による最新の知識や技術に関する講演に加え臨床における困難の解決、課題達成に向けた意見交換などを行っています。緩和ケア勉強会の開催日時は当院HPで確認できます。当院職員のみならず、全ての医療従事者の方を対象としていますが、関心・興味のある方であれば患者さんやご家族でも参加いただくことができます。申し込み不要、参加費無料です。

キャンサーボード（原則　月2回開催）

毎月2回　主治医と病理医・放射線診断医・外科医・放射線治療医及びがん薬物療法医と医療スタッフが参集し、がん患者の診療方針の症例検討を行うカンファレンスを実施しています。紹介医の先生におかれましては、患者さんのカンファレンスに一緒に参加していただくことも可能です。

がん患者支援多職種カンファレンス（原則　月1回開催）

臨床倫理的・社会的問題を解決するための、具体的な事例に則した、患者支援の充実や多職種間の連携強化を目的とした院内全体の多職種によるカンファレンスを実施しています。Jonsenらの4分割法に基づいて問題点を分類し、医師・看護師・薬剤師・歯科医師・薬剤師・MSW（メディカル・ソーシャル・ワーカー）・リハビリテーション技師・事務部等多職種で患者さん本人にとって最善の方針について合意を得ることを目的としています。

がん診療連携講演会（年2回開催）

2018年から医療関係者対象に、がん診療連携講演会を催しています。登録医の先生方には当院から案内があり直接講演会に参加いただけます。地域医療とがん拠点病院の連携の強化・質の向上を目指して専門の講師を招聘して最新のがん診療に関わる話題を提供しています。

YouTube 仙台医療センター【公式】チャンネル

2020年度以降、コロナ下で対面でのがん診療連携活動が困難となった際に、病院の公式YouTubeチャンネルを開始しました。がん市民医学講座（2020年～）・がん診療連携講演会（2022年～）・がんサロン（2022年～）は仙台医療センターYouTube公式チャンネルでオンデマンドで、いつでもご視聴いただけます。医療者向けと、患者さん向けにも発信していますので、患者さんにも当院のチャンネルをご紹介いただけますと幸いです。

https://www.youtube.com/@SendaiMedical

がん診療連携室についてお問い合わせ

国立病院機構仙台医療センター　がん診療連携室（地域医療連携室）
受付時間：月～金曜日（祝日を除く）　8時30分～17時15分
住　　所：〒983-8520 宮城県仙台市宮城野区宮城野2丁目11-12
直通電話：**022-293-1118**　直通FAX：**022-293-1123**

2 セカンドオピニオン外来のご案内(完全予約制) オンラインも可能

国立病院機構仙台医療センターでは、当病院以外の主治医におかかりの患者さんを対象に、患者さん又はそのご家族が病気への理解を深め、納得の上での治療を受けられるように支援させていただくために、セカンドオピニオン制度を実施しております。

他の医療機関に受診中の患者さんが診断やこれに基づく治療方法の選択などにおいて、第三者の客観的な意見を参考にすることで、最適な医療をご自分で決定するための判断材料となります。患者さんご自身で治療方針を決めたい、他の医療機関の意見を参考にしたいという場合は、当院のセカンドオピニオン外来をご紹介ください。

お申し込み方法

◉患者さん、または患者さんのご家族からの申し込みとなります。
◉受診は完全予約制です。お申し込みいただいた後に、当方から受診日をご連絡いたします。
◉地域医療連携室へセカンドオピニオン外来についての相談とご連絡ください。
(地域医療連携室直通電話:**022-293-1118**)
◉相談員が大筋を伺った後申込用紙や提出していただく書類、受診までの流れについて説明いたします。
◉オンライン診療をご希望の際には相談時もしくは申し込みの際にお伝えください。方法についてご説明いたします。
(セカンドオピニオン外来申込書・同意書〈必要時〉)

ご予約までのながれ

お電話

1 お電話にて仙台医療センター地域医療連携室(022-293-1118)にご連絡ください。
受付時間:月曜日～金曜日(土日祝祭日・年末年始を除く)
8:30～17:15

必要書類等について

2 相談員が相談内容をお伺いいたします。
セカンドオピニオンに該当するかなど確認いたします。

3 セカンドオピニオン外来申込書を記入し、FAX又は郵送にて地域医療連携室宛にお送りいただきます。

〒983-8520　宮城県仙台市宮城野区宮城野2丁目11-12
地域医療連携室　宛
直通電話:**022-293-1118**　直通FAX:**022-293-1123**

ご家族のみの受診の場合はご本人の同意書もお送りください。(申込書はホームページから印刷してご使用ください。ご連絡いただければ当院からFAX又は郵送にて送らせていただきます。)

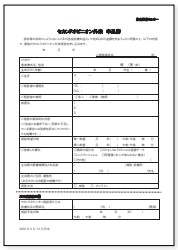
受診日のお知らせ

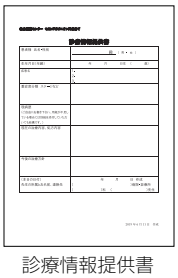
4 申込書に基づき相談員が診療科担当医と日程調整し、日時決定通知書を送らせていただきます。

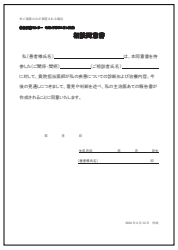
5 予約日時のご確認と資料等の準備をお願いいたします。

受診

6 診療科担当医によっては、事前に診療情報提供書や資料をご提出いただく場合があります。その際はご連絡いたしますのでご理解とご協力をお願いいたします。


セカンドオピニオン外来申込書
(P41参照)


診療情報提供書
(P43参照)


相談同意書
(P42参照)

セカンドオピニオン外来のご案内（完全予約制）オンラインも可能

外来受診当日のながれ

1. 予約時間までに患者サポートセンターにお越し下さい。
2. 診療科にご案内いたします。
   ご相談は原則、ご本人となりますが、ご本人の同意があればご家族でも相談できます。
3. 相談終了後、返却の必要な資料はお返しいたします。ご返事は、当日お渡しするか、後日郵送となります。
4. 会計受付（4番窓口）にて受診票等伝票をお出しください。

受診の対象となる方

◉患者さんご本人
◉患者さんご本人のご家族
※ご家族のみで受診される場合は患者さんご本人のセカンドオピニオン外来相談同意書が必要となります。

受診が不可能な場合

◉主治医に関する苦情や不満、医療訴訟目的や医療事故に関する相談
◉精神疾患に関する相談
◉眼科疾患に関する相談
◉整形外科疾患に関する相談
◉小児外科疾患に関する相談
◉主治医からの診療情報提供書（紹介状）をお持ちでない場合
◉最初から転医を希望されている場合
◉相談内容によってセカンドオピニオン外来よりも一般外来の受診をお勧めするほうが良いと判断される場合

相談日

◉完全予約制
◉月曜～金曜日（祝祭日を除く）**9時～17時15分**
◉一般外来とは別に担当医と調整の上決定します。申し込みをいただいたときに患者さん、ご家族のご希望をお聞きします。（ときにご希望に添えないときもあります。）

相談時間及び料金

◉相談時間は原則**60分　20,000円+消費税**となります。
　オンラインの場合は　**30,000円+消費税**となります。
◉延長**30分**単位で　**5,000円+消費税**加算されます。

・健康保険は適用されません。（自費となります。）
・料金には主治医の先生へのご報告書作成料も含んでおります。
・相談料金は受診当日の受診終了後にお支払いいただきます。
・お問い合わせ、ご予約には料金はかかりません。

セカンドオピニオン外来の問い合わせ先

国立病院機構仙台医療センター　地域医療連携室
受付時間：月～金曜日（祝日を除く）　8時30分～17時15分
住　　所：〒983-8520 宮城県仙台市宮城野区宮城野2丁目11-12
直通電話：**022-293-1118**　直通FAX：**022-293-1123**

仙台医療センター

セカンドオピニオン外来　申込書

訴訟等の目的にしようしないこと及び自由診療料金として定められた金額を支払うことに同意の上、以下の内容で、貴院のセカンドオピニオン外来受診を申し込みます。

年　　月　　日

ご相談者氏名　　印

フリガナ 患者様氏名、性別	様　（男・女）
生年月日（年齢）	年　　月　　日生（　　歳）
ご住所	〒　　—
ご相談者の連絡先	TEL ：　　（　　） FAX ：　　（　　）
ご相談者の続柄	ご本人 ・ ご家族（続柄:　　）
疾患名	1. 2. 3.
ご相談の具体的な内容 （ご自由にお書き下さい。用紙が不足している場合には別紙を添付していただいても結構です。）	
相談希望日時	第一希望　　月　　日（　）　午前・午後　　時　　分 第二希望　　月　　日（　）　午前・午後　　時　　分
ご持参した資料	□医師の紹介状　□CD もしくは DVD による画像データ □レントゲンフィルム　□同意書（本人が来られない場合） □その他（　　）
主治医の医療機関名とお名前	（　　）病院・診療所 （　　）科　（　　）先生
主治医のご住所、連絡先 （お分かりになる範囲で結構です）	
受診方法	□　来院　　□　オンライン

以下病院記入欄

セカンドオピニオン相談受け入れ 診療科及び医師名	（　　）科　（　　）医師
相談予定日時	年　　月　　日（　　） 午前 ・ 午後　　時　　分

2026 年 6 月 12 日作成

※ご家族のみが来院される場合

仙台医療センター　セカンドオピニオン外来

相談同意書

私（患者様氏名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿は、本同意書を持参した（ご関係・間柄）＿＿＿＿＿＿（ご相談者氏名）＿＿＿＿＿＿＿＿に対して、貴院担当医師が私の疾患についての診断および治療内容、今後の見通しにつきまして、意見や判断を述べ、私の主治医あての報告書が作成されることに同意いたします。

年　　月　　日

生年月日＿＿＿＿＿＿年　　月　　日生

（患者様氏名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

2026 年 6 月 12 日　作成

仙台医療センター　セカンドオピニオン外来あて

診療情報提供書

患者様　氏名・性別	殿　（ 男 ・ 女 ）
生年月日（年齢）	年　月　日生　（　歳）
疾患名	1. 2. 3.
重症度分類　ステージなど	
現病歴 （ご自由にお書き下さい。用紙が不足している場合には別紙を添付していただいても結構です。）	
現在の治療内容、処方内容	
今後の治療方針	
（本日の日付） 先生の所属とお名前、連絡先	年　月　日　作成 （　）病院・診療所 （　）科　（　）先生

2019 年 6 月 11 日　作成